

地方の若者の就学・就業を促進し 東京一極集中の是正を

まち・ひと・しごと創生担当大臣代理
内閣府副大臣 松本 文明

本日は、全国町村長大会がこのように盛大に開催されましたことを、心からお慶び申し上げます。また、平素より地方創生の推進にご尽力を頂いておりますことに、厚く御礼を申し上げます。

本年度は、まち・ひと・しごと創生総合戦略の中間年を迎えており、地方創生の新展開を図ってまいります。

まず、地方の現状として若者の数がこの15年間で約3割減少しております。東京圏の転入超過数は、そのほとんどが大学進学時、就職時の若者となっております。

こうした状況を踏まえ、地方における若者の就学・就業を促進し、東京一極集中の是正を図るために、地方大学の振興として、地方大学・地域産業創生交付金の創設によって、日本全国や世界から優秀な学生が集まるような、キラリと光る地方大学づくりを進めること、東京の大学の新增設の抑制をして、既存の学部の改廃による学部の新增設などを除いて、原則として東京23区の大学の定員増を認めないこと、若者の雇用機会の創出として、奨学金返還支援制度の全国展開、地方拠点強化税制の延長・拡充によって企業の地方移転等を推進すること、この3点について一体的に推進をしてまいります。

さらに、中山間地域等における小さな拠点の形成、地域運営組織の持続的な取組の支援を進めるとともに、子どもの農山漁村での宿泊体験活動を質・量ともにさらに充実させてまいります。

その他、政府関係機関の地方移転、中央省庁のサテライトオフィス等、国として多岐にわたる施策を進めてまいります。

国としては引き続き、情報・人材・財政の地方創生版3本の矢で積極的に支援してまいります。

特に、地方創生推進交付金は予算確保や運用改善に努めるとともに、企業版ふるさと納税をさらなる制度の活用に努めていただきたいと思います。

皆様からのご意見を伺いながら、地方創生を一層推進してまいりたいと思いますので、全国町村会の皆様におかれましては、引き続き、積極的な取組を進めていただきますようお願いを申し上げます。

最後に、全国町村会とご参会の皆様の益々のご発展をお祈り申し上げ、挨拶といたします。